

平成27年(2015年)5月の結果 (二人以上の世帯)

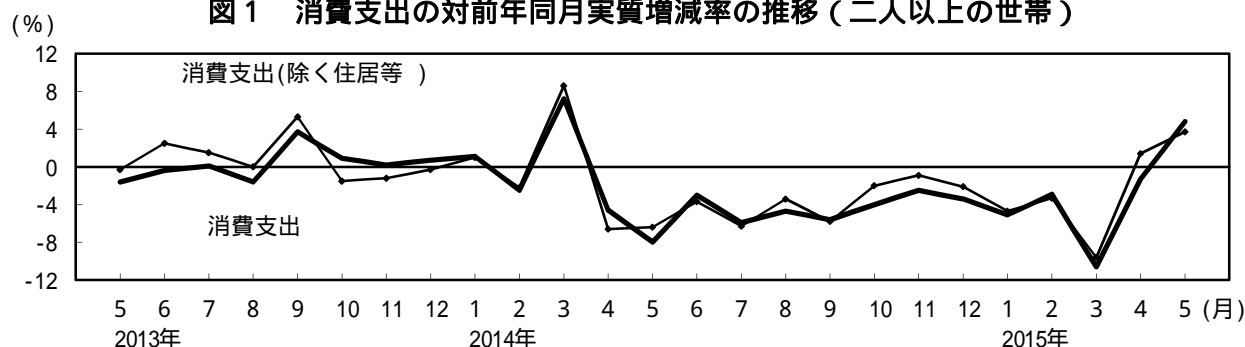
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 286,433 円		
前年同月比	実質 4.8%の増加	前月比(季節調整値)	実質 2.4%の増加
	名目 5.5%の増加		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 249,915 円		
前年同月比	実質 3.7%の増加	前月比(季節調整値)	実質 2.1%の増加
	名目 4.4%の増加		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 430,325 円		
前年同月比	実質 1.5%の増加		
	名目 2.2%の増加		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

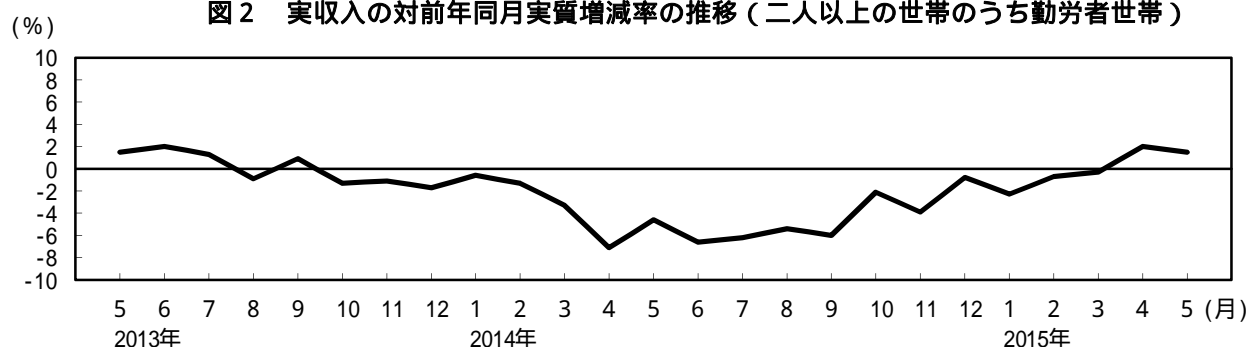
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年								2015年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費支出	-8.0	-3.0	-5.9	-4.7	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6	-1.3	4.8
消費支出(除く住居等)	-6.4	-3.7	-6.3	-3.4	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6	1.4	3.7

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年								2015年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
実収入	-4.6	-6.6	-6.2	-5.4	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3	2.0	1.5
可処分所得	-3.4	-8.0	-5.2	-5.2	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1	2.3	1.5
消費支出	-8.8	-4.5	-3.6	-6.0	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0	0.5	7.5
平均消費性向*	-5.4	1.9	1.2	-0.6	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7	-1.5	5.5

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年5月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	286,433	5.5	4.8	-		14か月ぶりの実質増加
食 料	73,488	3.8	0.7	0.19	<増 加> 外食,油脂・調味料など	2 か月連続の実質増加
住 居	18,053	24.2	23.6	1.26	<増 加> 設備修繕・維持,家賃地代	5 か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	22,301	2.7	4.5	0.36	<増 加> 上下水道料,ガス代など	2 か月連続の実質増加
家具・家事用品	10,378	19.7	19.3	0.62	<増 加> 家庭用耐久財,家事用消耗品など	2 か月連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	12,499	2.9	1.1	0.05	<増 加> 洋服,履物類など	2 か月連続の実質増加
保 健 医 療	11,802	3.6	3.1	0.13	<増 加> 保健医療用品・器具,医薬品	2 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	38,740	12.0	14.8	1.88	<増 加> 自動車等関係費,通信など	2 か月連続の実質増加
教 育	10,783	6.8	5.2	0.19	<増 加> 授業料等,補習教育	2 か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	29,224	-1.2	-1.9	-0.21	<減 少> 教養娯楽用品,書籍・他の印刷物など	14か月連続の実質減少
その他の消費支出	59,165	2.2	(1.5)	(0.31)	<増 加> 諸雑費	19か月ぶりの実質増加
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	249,915	4.4	3.7	-		2 か月連続の実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

自動車等関係費	[1.45]	自動車購入,自動車等部品
設備修繕・維持	[1.24]	外壁・塀等工事費,修繕材料
諸雑費	[0.69]	祭具・墓石,婚礼関係費
家庭用耐久財	[0.42]	電気冷蔵庫,エアコンディショナ
通信	[0.29]	移動電話通信料,移動電話
授業料等	[0.17]	私立高校,私立大学
上下水道料	[0.16]		
家事用消耗品	[0.14]	洗濯用洗剤,ポリ袋・ラップ
交通	[0.13]	鉄道通勤定期代,鉄道運賃
外食	[0.11]	飲酒代,日本そば・うどん

< 減少項目 >

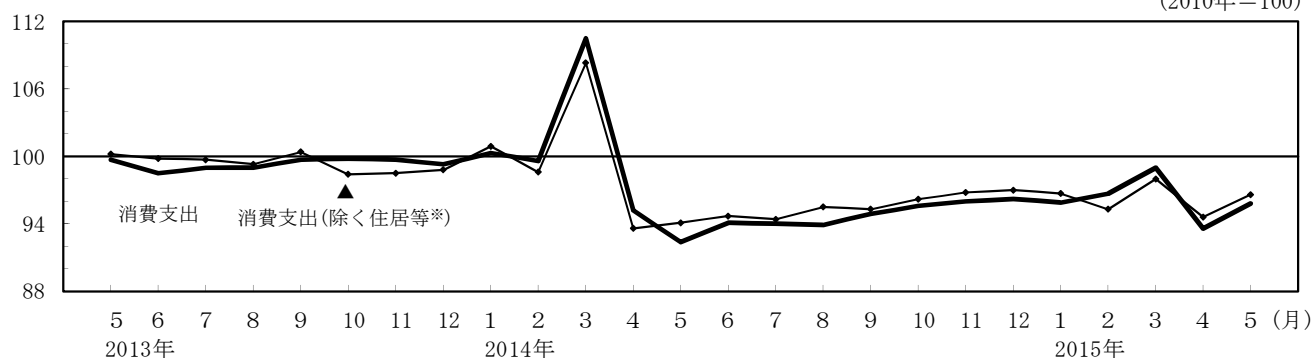
交際費	[-0.13]	贈与金
-----	---------	-------	-----

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年								2015年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費支出	92.4	94.1	94.0	93.9	94.9	95.6	96.0	96.2	95.9	96.7	99.0	93.6	95.8
対前月変化率(%)	-2.9	1.8	-0.1	-0.1	1.1	0.7	0.4	0.2	-0.3	0.8	2.4	-5.5	2.4
消費支出(除く住居等※)	94.1	94.7	94.4	95.5	95.3	96.2	96.8	97.0	96.7	95.3	98.0	94.6	96.6
対前月変化率(%)	0.5	0.6	-0.3	1.2	-0.2	0.9	0.6	0.2	-0.3	-1.4	2.8	-3.5	2.1

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年5月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	430,325	2.2	1.5	—	2か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	349,201	0.0	-0.7	-0.58	15か月連続の実質減少
定 期 収 入	343,510	0.0	-0.7	-0.56	16か月連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	58,101	6.0	5.3	0.68	2か月連続の実質増加
他の世帯員収入	7,560	24.1	23.2	0.34	4か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	102,450	2.3	—	—	5か月連続の増加
可 処 分 所 得	327,875	2.2	1.5	—	2か月連続の実質増加
消 費 支 出	317,317	8.3	7.5	—	2か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	96.8	(前年同月) (ポイント差) 91.3		5.5	季節調整値でみると、74.3%で、前月に比べ、1.3ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。